

# 平成 30 年度（ 音楽科 ）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	<p>樂典の基礎事項を確認させ、基本的な読譜力を定着させる。</p> <p>混声合唱における、基本的な発声方法を身に付けさせ、美しい歌声づくりの意識を高めさせる。</p> <p>様々な音楽表現に触れることにより、音楽への興味関心を深めさせる。</p>	<p>簡単なリズム譜を用いて、継続的に読譜の練習を行う。</p> <p>C D や範唱の聴取により、混声合唱の響きの美しさを感じができる体験を多く取り入れる。</p> <p>オーケストラの楽曲の鑑賞や、箏の演奏により、様々な音色がもつ独特の響きに関心をもたせる。</p>	<p>授業で与えた課題を十分に理解し、習得している生徒には、さらに深い表現ができるような課題を与える。</p> <p>授業の理解・習得に時間をする生徒には、個別指導を行い、合唱では、パート練習の中で、個別練習の時間や自主練習時間を確保する。</p>
2 年	<p>混声合唱における発声の基本を見直しながら、美しい発声を意識することを定着させる。</p> <p>楽曲のしくみや作曲者の意図を考えながら、自らの曲想表現を工夫させる。</p> <p>基本的な読譜力を定着させ、視唱や視奏の力を付ける。</p>	<p>呼吸や口の開け方、姿勢などに常に留意させながら、歌唱させる。</p> <p>作曲の背景や作曲者の考えを伝え、考える時間をもたせて、表現させる。</p> <p>合唱全体におけるパートの響きや役割を、パートごとに考えさせながら、曲想づくりを行っていく。</p> <p>読譜の演習や、簡単な聴音課題を継続的に行う。</p>	<p>授業で与えた課題を十分に理解し、習得している生徒には、更に表現を深める課題を与える。</p> <p>授業の理解・習得に時間をする生徒には、個別指導を行い、パート練習により個別練習の時間や自主練習時間を確保する。</p> <p>鑑賞だけでなく、実技においても、自らの音楽を丁寧に聴く意識をもたせる。</p>
3 年	<p>混声合唱の表現をさらに深めさせる。</p> <p>鑑賞の能力を伸ばし、音楽の世界観を深めさせる。</p>	<p>発声練習での伸び伸びとした歌声が、楽曲でも生かせるようにする。</p> <p>さまざまな曲想の要素に着目させながら、合唱表現の工夫をさせる。</p> <p>総合芸術の作品を鑑賞することにより、音楽と他の芸術がつながっていくことや、音楽の歴史などへの興味をもたせる。</p>	<p>表現活動が不十分な生徒には、個別のアドバイスや実践の練習を補充する。</p> <p>合唱指導やパート練習などを通して、常にお互いの音を聴き合い、自らの表現活動に生かすことを意識させる。</p>